NiSEKO

まちの「今」を伝える情報誌　広報 ニセコ

NOVEMBER
2026
vol.775
11



2人でハイチーズ！
（ニセコ小学校遠足）

特集

ニセコ町で育った雪の上のアスリートたち

Athletes on the SNOW

Grew up in Niseko Town

特集

ニセコ町で育った
雪の上のアスリートたち



写真：吉岡大輔さん提供

世界的に知られるパウダースノーを求めて、国内外から多くのスキーヤー・スノーボーダーが訪れるニセコ町。冬になると、町は、雪を目当てに集まる人たちでにぎわいます。

この雪の町から、世界の舞台に立った吉岡大輔さん。川で遊び、自転車で坂道を走り回った子ども時代を過ごし、2006年のトリノオリンピックにアルペンスキーで出場しました。

そして、この町で育ち、世界を目指して雪の上で挑戦を続けているアスリートは、吉岡さんだけではありません。普段は、競技を見る機会が少なくても、町の身近なところに、世界を目指す人たちがいます。モーグル、フリーライド、クロスカントリーなど、競技はさまざまですが、みなさんニセコ町の雪と共に成長してきた選手たちです。

この特集では、吉岡さんのインタビューに続いて、ニセコ町で育った選手たちを紹介します。あわせて、これからスキーやスノーボードを始めてみたい人のために、町内のゲレンデやスクールの情報、滑るだけではない応援する楽しみも紹介します。選手を応援したくなったら、そして自分自身も雪の上に出てみたくなったら、ぜひこのページをめくってください。

オリンピアンが語る

“ニセコという雪の教室”



写真：吉岡大輔さん提供

氏名／吉岡 大輔さん

競技／アルペンスキー
主な成績／2006年トリノ五輪出場
現在／スキー場でスキースクールや
キャンプ場の運営

Q1 スキーを始めたきっかけは？

父がジュニアのスキーチームを持ち、7歳上の兄もアルペンスキーをしていました。最初は母におんぶされて、物心つく前から山に行っていました。父がコーチをし、兄が一生懸命に旗門（きもん）（コースを指示するために連続して立てられた旗）を滑る姿を見て、自然にスキーを始めました。

Q2 ニセコで育って、よかったことは？

冬は雪が多く、夏は自然しかない田舎町でした。家は「外で遊んでこい」という感じで、ゲームもインターネットもなく、友だちと真狩川で泳いだり釣りをしたり、クワガタを探したりしていたことが楽しかったです。

Q3 トリノ五輪までの道のりは？

2006年は26歳。前の年の世界選手権で手応えをつかみましたが、12月後半のヨーロッパカップで、手のひらの骨（中手骨）を複雑に粉砕骨折しました。ビスやプレートで固定して、年明けにレースへ戻りました。

結果は出ませんでしたが、当時あった特別推薦で、出場が決まりました。小さい頃に「オリンピック選手になりたい」と書いていたので、まずは夢が叶ってうれしかった。本番は男子大回転で24位。みんなが喜んでくれたと思います。



◀子どものころの吉岡大輔さん

写真：吉岡大輔さん提供

Q4 現在は何をしていますか？

2006年の春にアルペンを引退し、15年ほど技術選で活動していました。今は新潟市に住み、新発田市のスキー場「ニノックス」で、冬はスキースクールとレンタル、夏はキャンプ場を運営しています。雪の楽しさをどう伝えるかが、私のテーマです。

Q5 町のみなさんへ、ひとこと

トリノ五輪のときは、道端に「吉岡大輔がんばれ」というのぼりが立ったり、公民館でパブリックビューイングを開いてくれたりした記憶があります。地元の同級生が「頑張れ」と応援してくれている写真が町で紹介されるなど、町に応援してもらえるのは本当に力になります。

ニセコの雪は、世界に自慢できるレベルです。除雪などの大変さもありますが、冬にしかできない楽しみがたくさんあります。スキーやスノーボードはもちろん、雪合戦やそり遊びでもいい。まずはやさしいコースや安全な場所から、雪と遊んでみてください。

Q6 世界を目指す選手のみなさんへ、ひとこと

私は小さい頃、「オリンピック選手になりたい」と書いていました。夢は、大きく持っていいと思います。そして、競技を続けるうえで何より大切なのは、精神面の強さです。うまくいかない時こそ、気持ちの持ち方が結果を左右します。私もオリンピックの年に大けがをして、思うようにいかない時期がありました。それでもあきらめずにレースへ戻りました。ニセコの雪で育ったことを誇りに、自分を信じて、思い切って挑戦してください。応援しています。

“今、世界を目指すニセコの選手たち”



フリーライドスキー

勝野（かつの） 天欄（てんら）さん（25歳）

■世界選手権 5位
■FWT PRO日本人初昇格※

応援はここから▶

ニセコの雪が育てた自由な滑り

原点　子どもの頃、仲間と雪山でジャンプ台を作って遊んだ日々を覚えています。冬のパウダーと夏の外遊びが、「楽しむ」という今でも大切にしている考えの原点にあると思います。

競技の魅力　自由度が高いことと、一発勝負であることから、その場の状況判断が大切です。また、危険に見えるかもしれませんが大会組織も「安全最優先」を理念として掲げており、装備や救助トレーニングを積んでいます。

いま　プロとしての競技と映像制作の2本柱で活動しています。競技では2030年冬季五輪に向けてトップで戦い続け、映像制作で競技の魅力や雪の素晴らしさを届けていきたいです。機会があれば、ぜひみなさんと一緒に滑りたいと考えています。

※FWT PRO：フリースタイルワールドツアーの最高峰ランク（世界で約25人が所属）



クロスカントリースキー

藤原（ふじわら） 天聖（てんせい）さん（20歳）

■全日本学生スキー選手権 第1位
■世界ジュニア選手権 第21位

応援はここから▶

「楽しむ」が強さになる

原点　始めたのは小学2年生の冬。陸上をしていたので、体力作りにもなると親に勧められました。走る感覚に近く、自分に合っていると感じました。

分岐点　高校2年生の時に、けがをしてしまい大会に出られない期間がありましたが、ほかの選手を観察したり、トレーニングの強度を上げるなどけがをバネにすることができ、翌シーズン好成績を残せました。

マイペース　焦らず周囲と過度に比較しない性格が強みだと感じているので、これからも自分にできることを積み上げ、結果につなげたいと思います。

楽しむ　上を目指す選手は日々の練習やプレッシャーなど、たくさんつらいことがあると思いますが、仲間や自分の成長を楽しみたいです。

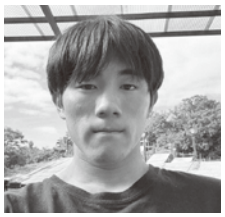
参考 紹介する3つの競技

競技	ひとことで言うと	滑る場所	競い方・採点	見どころ
フリーライド	整備されたゲレンデではなく、山の自然の斜面を、自分で選んだラインで滑る競技。	急斜面や岩場、崖など、手つかずの自然の地形。	山頂からスタートし山麓でゴールするという単純なルールで5項目を採点。1大会につき1回の滑走で順位が決まる。（大会により変動あり）	目視確認で練習なしの1発勝負という緊張感。ライダーごとに大きく滑り方が変化する。
クロスカントリー	細い板で雪の野山を走り、速さを競う「雪の上のマラソン」。すべてのスキーの原点ともいえる種目。	雪原や丘陵に作られた周回コース。上り・下り・平地が組み合わさる。	決められた距離を走り、タイムまたはゴールの順番で順位が決まる。距離を走る種目、短距離のスプリント、リレーがある。	上りのがんばりと、下りの高速。2つの走法と手に汗握るデッドヒート。
モーグル	コブだらけの急斜面を、速く・美しく・ジャンプも決めながら一気に滑り降りる競技。 雪上のコブ＝モーグル（ノルウェー語）	コブ（雪のコブ）が並んだ急斜面。途中に2か所のジャンプ台がある。	ターン60%・エア（ジャンプ）20%・スピード（タイム）20%の100点満点で採点。1人ずつ滑走するモーグルと2人同時に滑走するデュアルモーグルがある。	コブをなめらかに吸収する上半身の安定感と、速さの両立。2回のジャンプの空中技。

“NisekoB&Jの選手 6人”

ニセコ東急グラン・ヒラフスキー場を拠点に活動しているジュニア・選手育成チーム

フリースタイルスキー・モーグル



岡田（おかだ） 匠真（たくま）さん（20歳）

■全日本スキー選手権 第2位
■FIS（国際スキー連盟）Apex Classic 第1位

応援はここから▼

小学4年生からスキーでジャンプしたり、コブを滑ったりすることが楽しいと思うようになり、モーグルを始めました。私が最も影響を受けた人物は、父だと感じています。また、たくさんのスキーヤーと交流したり、一緒に滑ったりすることができるのがとても楽しいし、それがニセコの魅力だと思います。

今年の12月のワールドカップに出場します。私が日々の練習でもこだわっているコブの滑りなどを意識し、良いパフォーマンスをしたいと思いますので、応援よろしくお願いします。また、今後は町民のみなさんと一緒にスキーを楽しむ機会がつくれたらいいなと思っています。



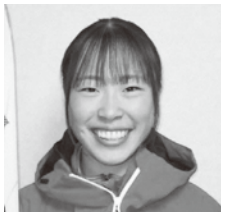
藤村（ふじむら） 一慶（いっけい）さん（19歳）

ニセコ高校卒業（倶知安町出身）
■全日本スキー選手権 優勝
■FISワールドカップ2026 第6位

応援はここから▼

2歳の時から大好きなニセコのふわふわの雪でスキーをしていました。スキー場が近く、たくさんのスキーヤーに刺激を受けることができるので、ニセコ町はスキーを学べる環境が整っていると感じています。私は、コブでのターンが得意です。滑らかなスキーの動きに注目して見てください。

今シーズンの目標は、世界選手権に出場することで、将来はオリンピックで金メダルを獲得したいです。これからも楽しむことを大切に頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。



谷（たに） 美音（みお）さん（18歳）

■世界ジュニア選手権 第3位
■FISワールドカップ2026 第11位

応援はここから▼

3歳からスキーを始め、NISEKO B&Jの体験レッスンでモーグルの楽しさを知り、競技を始めました。NISEKO B&Jやモイワスキー場で行われているフリースタイルスキーイベントなど、たくさんの人に支えられてスキーを楽しみながら学ぶことができました。

今シーズンの目標は、ワールドカップ出場とジュニア選手権優勝です。これからもワールドカップ優勝を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。私はスピードに自信があるので、そこも注目して見てください。



遠藤（えんどう） 菜樹（なつき）さん（17歳）

■ジュニアオリンピック高校生 女子の部 第2位
■A級ばんけいモーグル競技会 第3位

応援はここから▼

物心つく前からスキーをしており、始めはなんとなく続けていましたが、滑れば滑るほど楽しくなり、今ではスキーが私にとってかけがえのないものになっています。ニセコ町の尻別川沿いの四季を感じられる景色が好きで、特に夕日がさしている時間帯がお気に入りです。競技を続けさせてくれている両親やすてきなチームメイト、素晴らしいコーチ、ニセコという充実した環境で活動できていることにとても感謝しています。オリンピックを目指して頑張っていますので、応援よろしくお願いします。



結城（ゆうき） さくら子（さくらこ）さん（16歳）

ニセコ高校在学
■全日本スキー選手権 第12位

応援はここから▼

父の影響で幼いころからスキーをしていました。中学1年生の時に同級生に誘われたのがきっかけでモーグルと出会いました。今の私の原点はニセコ町の雪と仲間との出会いです。

いつも家族やコーチ、クラスメイトなど、さまざまな人たちの応援が私の大きな力になっています。会った際に「見てるよ！」や「ターンがきれいだね！」などと言ってもらえることが私の原動力になります。みなさんの応援を背に、これからも頑張っていきます。



遠藤（えんどう） 柚歩（ゆずほ）さん（14歳）

ニセコ中学校在学
■ジュニアオリンピック中学生 女子の部 第2位

応援はここから▼

姉がスキーをしていたので、私も気になって始めたのがきっかけです。ニセコ町の好きなところは、自然豊かできれいな景色と、町民運動会などの人との関わりがたくさんあることです。知らない人でもすれ違ったらあいさつをしてくれるので、私もあいさつするようになりました。

今の私の目標は、ジュニアオリンピック中学生女子で1位になることです。転ばずに滑りきる安定感を武器に、これからも頑張ります。みなさんの応援が大きな力になりますので、応援いただけるとうれしいです。

コーチの言葉と、はじめの一歩のためのガイド

すべる楽しみ


岡田さんが撮影した練習風景

NISEKO B&J　岡田 将人さん

純粋にスキーを楽しむ心を

日本や世界で活躍する選手がたくさん所属しているNISEKO B&Jで、チームのコーチとして子どもたちに寄り添う岡田さん。ニセコの雪が育んだ価値観や岡田さん自身の想いを伺いました。

楽しむことが第一歩　スキーでは、体を動かすことや新しい感覚を楽しんで欲しいと思っています。「ニセコの雪の上で体を動かすこと」そのものを純粋に楽しみ、自然の中で遊ぶ楽しみを感じることを私たちは、大事にしています。

自分で考える　チームで大切にしていることは、たくさんの情報から自分で考えて判断することです。誰からの助言でもよく聞き、試してみて、自分に合っているかを判断して欲しいと思っています。1日で500枚ほど選手の動画を撮影することもありますが、さまざまな方法で自分で考える材料を提供したいと思っています。

試して選ぶ　新しいことに取り組むことを大事にしています。3回くらい試してみて、変化がなかったり、感覚が良くなければ別のやり方を提案するように心がげています。選手には「さまざまなことを試してみて、自分が納得の行くことを選ぶと自分のスキーが形になると思う」と伝えています。何度か選手自身が試して、自分に合うかどうか判断することが選手たちの習慣になってきていると感じます。

気軽な一歩を　「行ってみようかな」と、スキーが気軽にできるようになるといいなと思っています。また、ニセコにはウィンタースポーツでトップレベルの選手がたくさんいます。町で見かけた時に、声をかけていただけると、選手たちは、励みになると思います。これからもよろしくお願いします。

11月28日(土) 同時オープン予定！ ニセコ町ゲレンデ情報

スキー場	おすすめポイント(公式情報)	料金(1日券)	割引・お得情報	問合せ
ニセコモイワスキーリゾート	アイヌ語で小さな山を意味する「モイワ」。ニセコエリアで最も海に近いことから、程よい湿り気の雪質とコンパクトな山に魅力の詰まった地形を楽しむことができる。	大人:13,000円 高校生:11,000円 キッズ:3,000円 (レギュラー期 12/20～3/8)	道民割引 大人:7,800円 高校生:6,600円 キッズ:1,800円 (レギュラー期)	TEL 0136-59-2511 ニセコ町ニセコ448
ニセコアンヌプリ国際スキー場	幅が広く傾斜のゆるやかなコースや最長4,000mものロングランコースなど、初級者からファミリーまでさまざまな人がニセコの雪でスキー・スノーボードを体験できる。	大人(16－64歳):7,800円 13～15歳:5,900円 4～12歳:4,900円 (ピーク期 12/24～2/28)	町民割引 大人 1日券:3,900円 子ども ・シーズン券助成 ・1日券無料配布	TEL 0136-58-2080 ニセコ町ニセコ485
ニセコビレッジスキーリゾート	縦にのびるダイナミックなコースが特徴で、アンヌプリ側では比較的斜面に変化がある。今シーズンから新ゴンドラが整備され、快適にスキーをすることができる。	大人:10,700円 中学生:9,100円 小学生:6,500円 (ピーク期 12/24～2/28)	特になし	TEL 0136-44-2211 ニセコ町東山温泉

スキースクール

- ＊ニセコアルペンスキー少年団
  ■問合せ／TEL 0136-58-3568
- ＊ニセコクロスカントリースキー少年団
  ■問合せ／TEL 0136-44-2034
- ＊NISEKO B&J
  ■問合せ／TEL 090-2690-6544
- ＊各スキー場
  ■問合せ／各スキー場のホームページなどでご確認ください



ニセコ町が応援するスキーデビュー

- ＊初心者の子どものためのスキー教室
  スキーを初めて滑る子どもや、スキーが苦手な子どもを対象に、スキー靴のはき方や歩き方から実際のゲレンデでの滑走練習までを3日間で行います。
- ＊幼児向けスキーレンタル事業
  ニセコ町在住の幼児を対象にスキーセットの無料貸し出しを行っています。

■問合せ／教育委員会生涯学習課スポーツ係　TEL 0136-44-2034

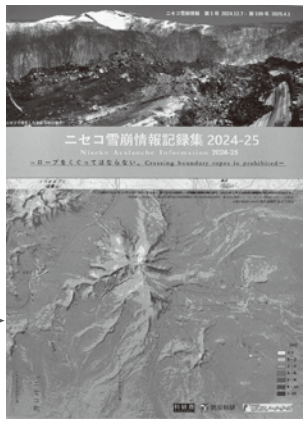
安全にスキーを楽しむために

ニセコルール

ニセコはかつて、国内で最も雪崩による死亡事故が多い地域でした。新雪を滑る自由を大切にしながら、事故を防ぐために、スキー場の外（バックカントリー）を滑る人に守ってほしいルールが決められています。また、ニセコ雪崩調査所がその日の雪山の危険を知らせるニセコ雪崩情報を発信しています。

1. スキー場外へは必ずゲートから出なければならない。
2. ロープをくぐってスキー場外を滑ってはならない。
3. スキー場外では、安全に滑走するために、ヘルメットと雪崩ビーコンの装着が最低限必要と考える。
4. ゲートが閉じられている時はスキー場外に出てはならない。
5. 立入禁止区域には絶対に入ってはならない。
6. 小学生のみのスキー場外滑走を禁止する。

■**問合せ**／商工観光課　TEL 0136-56-8843



ニセコ雪崩記録集
ニセコ雪崩情報をシーズンごとにまとめたもの

冬を、応援でもっと楽しく

応援する楽しみ





撮影者：元輝 大智

佐々木 玄さん
プロスキーヤー
スキームービー「VOLCANO」公開予定（今秋）

雪の町ニセコで育った選手の活躍を、もっと町のみなさんに知ってほしい。そして、一緒に応援してほしい。それが私の願いです。

見どころ　スピード系の競技は、タイムだけでなく、人によって違うライン取り（どこを通って滑るか）やターンのタイミング、転びそうになった時の立て直しにも注目を。フリースタイル系は、人間業とは思えないエアー（空中の演技）と、選手ごとの技の違いを楽しんでください。

観戦できる大会　町内では、2026年3月にジャパンカップ ビッグエア ニセコモイワ（FIS大会）が開かれました。ただ、頻繁にあるわけではありません。隣の倶知安町では今年4月にSwatch Ninesが再開され、札幌市ではハーフパイプのワールドカップが開かれることもあります。

応援の方法　応援したい選手のSNSをフォローして、活躍した時にコメントを送ってみてください。好きなチームや大会、競技連盟のアカウントから、選手を見つけるのもおすすめです。FISのホームページでは、国際大会の結果やライブ配信も見られます。

ニセコの冬　子どもの頃は、木やベランダ、屋根から雪へダイブして遊んでいました。ニセコの柔らかい雪だからできる遊びです。遠征で訪れたどの国でも、ニセコを知っている人がいて、当たり前だと思っていたニセコの環境が特別だと知り、私には驚きでした。

今回の特集では、ニセコ町で育ち、世界に挑む選手たちを紹介しました。
みなさんは何人の選手を知っていたでしょうか？
ニセコ町だからこそ味わえる滑る楽しみ、応援する楽しみなど、好きな楽しみ方を見つけてください。

My town's hot news

まちの話題




ボレーシュートを披露する小野伸二さん

9/16

「小野伸二さん」がニセコ町にやって来た！

One Hokkaido Soccer School

小野伸二O.N.O（One Hokkaido Nexus Organizer）が、北海道コンサドーレ札幌創設30周年となる2026年から10年程度かけて北海道179市町村を回るという企画で、ニセコ町にも小野伸二さんがやってきました。

当日はサイン会や撮影会、小学生を対象にサッカー教室を行い、元日本代表のボールタッチを披露しました。子どもたちはもちろん大人も大興奮しながら小野伸二さんとの交流や小野伸二さんのボールタッチを目に焼き付けていました。



百歳を迎えられたニセコハイツのみなさん（写真：ニセコハイツ提供）

9/17

百歳、誠におめでとうございます

百歳高齢記念品贈呈式

百歳を迎えられるみなさんに高市早苗内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の贈呈式が行われました。

ニセコハイツときら里で行われた贈呈式では、長年のご功績への敬意と感謝を込めて、保健福祉課長から町を代表して長寿のお祝いの言葉が贈られました。受贈者は親族と思い出話をしたり、写真撮影の際に涙をこぼしたりしていました。これからも健やかで、穏やかな日々を過ごされることを心よりお祈り申し上げます。


第236回の様子は町公式YouTubeでご覧いただけます

9/17・30

意見交換を通して学び合う

第235、236回まちづくり町民講座

町は、「まちの財政について」と題し、令和7年度の決算状況と令和8年度の予算内容に関する第235回まちづくり町民講座を開催しました。今年度はどのような事業にお金が使われているかなど、分かりやすく説明がなされました。

また、第236回では、「公共施設と住民交流拠点のこれから」と題し、町の公共施設の現状や課題が共有され、参加者全員で今後の在り方を考えました。施設へのみなさんの希望が共有された意見交換の時間となりました。



一斉にスタートする選手のみなさん

9/20
秋のニセコで自分の限界に挑戦
第44回ニセコマラソンフェスティバル

ニセコマラソンフェスティバル（実行委員会主催）が行われました。当日の朝は雨が降っていましたが、徐々に天気も回復し、最初の出走であるハーフマラソンがスタートする頃には、気持ちの良い晴れ空となりました。

ハーフ、10㎞、3㎞、ファンランの種目ごとに陸上競技場をスタートし、有島記念館やニセコ大橋、綺羅街道など、ニセコ町内を駆け抜けました。


手際よく刈り進める子どもたち

9/28
黄金色に実りました
ニセコ小学校稲刈り体験

6月に字里見の大橋敏範さんご協力のもと田植えをしたニセコ小学校5・6年生が、稲刈りを体験しました。きれいに色づいた、自分たちが手植えをした稲。慣れない鎌に悪戦苦闘しながらも、初めての稲刈りを子どもたちは楽しんでいました。どうやったらうまく刈ることができるかなど、お互いに教え合って作業する様子も見られました。

最後にはコンバインを使った稲刈りの様子を見せていただき、機械が一瞬で刈り取っていく様子に驚いていました。


最優秀賞を獲得した3年A組の合唱

10/3
日々の成果を出し切りました
ニセコ中学校文化祭

音楽部による「チェリー（スピッツ）」の演奏でニセコ中学校文化祭が始まりました。

ニセコ中学校版の「ゴッド・タレント」や「ポケットモンスター」など個性豊かなクラス発表や、イントロドンやクイズといった生徒会企画など、休む間もなく盛り上がっていました。合唱コンクールでは緊張感がただよう中、全クラスが全力を出し切り、その表情には笑顔が見られ、文化祭のテーマである『彩〜完全燃焼〜』を体現していました。


ニセコハロウィン大賞受賞！！

10/11
ニセコの秋の風物詩開催
ニセコハロウィン2026

ニセコ駅・ニセコ中央倉庫群周辺でニセコハロウィン2026が行われ、町内外から多くの人が集まりました。

ニセコハロウィンは、素敵な仮装に身を包んだみなさんのコスチュームコンテストのほか、キッズダンスチームFLASHやクイズ大会など大盛り上がり。また、ニセコ中央倉庫群旧でんぷん工場では、ネイル体験コーナーやゴースト・オブ・ヨウテイコーナーなどで、たくさんの人がニセコのハロウィンを満喫していました。



松井保健師の

健康づくりだより

■保健福祉課健康づくり係
TEL 0136-56-8840

vol.118

流行性の感染症への備え

●季節性インフルエンザ
38度以上の高熱などが特徴で、感染した人の咳やくしゃみの飛沫を吸い込むことで新たに感染が起こります。

●ノロウイルス
感染した人のおう吐物などの処理によって感染することがあり、突発的なおう吐や下痢、発熱を起こします。高齢者や乳幼児では重症化することがあり、注意が必要です。また、処理の際には塩素消毒液が有効です。

●新型コロナウイルス
呼吸器感染症の一つで、発熱・咽頭痛・咳を中心に症状があらわれます。感染した人の咳やくしゃみの飛沫を吸い込むことで新たに感染が起こります。

予防するには？

●せっけんでの手洗い・うがい
インフルエンザ・新型コロナウイルスは、咳やくしゃみの飛沫のほか、ウイルスの付着した手で口や鼻に触れることでも感染が発生します。また、ノロウイルスの感染元となるおう吐物などの処理においても、接触後のせっけんによる手洗い・うがいによって感染リスクを下げることができます。

●マスクの着用
人の多いところではマスクの着用により、咳やくしゃみの飛沫による感染を防ぐことができます。

●感染の起こりにくい環境
部屋の温度は24±2度、湿度は60％程度を保ち、空気の乾燥を防ぎます。また、30分に1回程度・数分を目安に換気し、空気を入れ替えることも効果的です。窓がない・開けられない場合は、扇風機や換気扇を活用し、空気が流れるようにすることも効果的です。

●バランスの良い食事
野菜や肉・魚、発酵食品などさまざまな栄養素が免疫の働きをサポートします。また、朝食をとることで体温が上昇し、免疫力の低下を回避することにもつながります。

●十分な休養とリラックスを
睡眠不足やストレスの高い状態は、免疫力の低下につながります。シャワーだけでなく湯船に浸かるなどして、体と心を休めることが大切です。

食と栄養のおはなし vol.44

【介護予防料理教室】

9月28日、30日に町民センターで「介護予防料理教室」を開催しました。今年はフレイル予防のためタンパク質を意識したメニューにしました。一部メニューを紹介しますので、ぜひご自宅で調理してみてください。

来年度も開催予定です。日程が決まりましたら広報などでお知らせします。みなさんの参加をお待ちしています。

■保健福祉課健康づくり係　栄養士
TEL 0136-56-8840　FAX 0136-44-3500
MAIL：kenko@town.niseko.lg.jp

高野豆腐の五目はさみ煮



〈材料〉（2人分）
・高野豆腐……2枚
・片栗粉……適量

【タネ】
・鶏ひき肉……40グラム
・ニンジン……10グラム
・シイタケ……1枚
・ひじき…1グラム（乾燥）
・長ネギ（青い部分）…3センチメートル程度
・ショウガ……ひとかけ
・しょう油……小さじ1
・酒……小さじ1

【煮汁】
・水……600ミリリットル
・和風顆粒だし……小さじ1
・砂糖……大さじ3
・みりん……大さじ1.5
・しょう油……大さじ1.5
・水溶き片栗粉……適量

〈作り方〉
❶高野豆腐はたっぷりの水で戻し、やさしく手で押さえて水気を絞ります。
❷半分に切り、真ん中に切り込みを入れてポケットを作ります。
❸ひじきはたっぷりの水で戻したら、ざるにあげておきます。
❹ニンジン、シイタケ、長ネギはみじん切りにします。
❺ボウルにタネの材料を全て入れ、粘り気が出るまでよく混ぜ合わせます。
❻高野豆腐のポケット部分に片栗粉を振り、タネを詰めます。
❼フライパンに高野豆腐を並べ、煮汁の材料を入れたら落としぶたをし、中に火が通るまで弱火でじっくりと煮ます。
❽煮汁に水溶き片栗粉でとろみをつけたら完成です。

福祉・健康のお知らせ

インフルエンザ・新型コロナウイルスの予防接種

町では、インフルエンザ・新型コロナウイルス予防接種の費用助成を行っています。

■**接種場所**／ニセコ医院

■**持ちもの**／身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証など）

■**期間**／

・インフルエンザ予防接種
10月中旬～令和9年3月31日（水）

・新型コロナウイルス予防接種
11月16日（月）～12月26日（土）

■**そのほか**／

・今年度より接種日の指定はなく、予約なしで接種が可能です。

・できる限り事前の予診票の受け取り・記入にご協力ください（当日記入し接種を希望される場合は、お時間に余裕をもってお越しください）。

・助成費用、ニセコ医院の受付時間、町外医療機関で接種される場合など、詳しくはチラシをご覧ください。

■**問合せ／保健福祉課健康づくり係**
TEL 0136-56-8840

エキノコックス症検診結果のお知らせ

9月14日に実施したエキノコックス症検診は、111人の受診がありました。結果は、全員異常ありませんでしたのでご安心ください。

■**問合せ／保健福祉課健康づくり係**
TEL 0136-56-8840

新生児のみなさんへ「北海道コンサドーレ札幌オリジナルスタイ」をプレゼント



町では、令和8年4月1日以降に出生されたお子様を対象に、赤ちゃん訪問や乳児健診の際、Jリーグチーム、北海道コンサドーレ札幌のオリジナルスタイ（よだれ掛け）をプレゼントしています（申請や手続きは不要です）。

オリジナルスタイは、株式会社コンサドーレとミズノ株式会社が、北海道地域を主軸とした事業提携プロジェクトとして展開する『PROJECT 179』を通じ、令和8年度に誕生した赤ちゃんを応援するこのプロジェクトに町が賛同し、寄贈していただいたきました。コンサドーレのクラブカラーである赤と黒をベースに、マスコットキャラクターの「ドーレくん」が全体にプリントされています。

コンサドーレのスタイをつけた赤ちゃんが、すくすくと元気に育つことを願っています。

■**問合せ／保健福祉課健康づくり係**
TEL 0136-56-8840



1歳のおたんじょうび おめでとう







子育て講座「ニンジン掘り」

おひさま

ＪＡようてい農業青年部のみなさんが育てたニンジンの収穫体験をさせていただきました。子どもたちは、ニンジンが抜けると驚いたり、うれしそうな表情したり、かわいかったです。自分たちで収穫したニンジンが食卓に並ぶと、いつもよりおいしく感じ、モリモリ食べたのではないでしょうか。

ＪＡようていのみなさん、青年部のみなさん、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



「おひさま」とは…親子で気軽に遊べて、友だち同士で悩みなどを相談できるふれあいの場所です。（幼児センター内）



野菜の収穫をしました

幼児センター

春に植えたジャガイモが大きくなり、くま組（年長児）がイモ掘りをしました。ジャガイモの収穫をするのは初めてという子が多く、最初に掘り方を教えてもらいました。グループに分かれてつるを引っ張り、大きなジャガイモが出てくると歓声が上がってました。

ほかにも、キュウリやトマト、カボチャ、ナス、枝豆など、たくさん収穫できました。収穫した野菜は給食室で調理してもらい、みんなでおいしく食べています。

ニセコ高校・ニセコ国際高校生徒会

私たちのスクールライフ

秋のあいさつ



NISEKO HIGH SCHOOL OF INTERNATIONAL STUDIES HOKKAIDO JAPAN

書記　2年
網本　椰子風さん

みなさんこんにちは。

朝夕はめっきり寒くなり、落ち葉が舞い散る季節となりました。「食の秋」「読書の秋」などさまざまありますが、みなさんはどのような秋をお過ごしでしょうか。

ニセコ高校では、ニセコマラソンや体育大会、部活動など、生徒一人ひとりがスポーツを通して青春を体感しています。その中で新たな交流や仲間づくりも見られ、クラスや学年の団結力をより一層向上させています。

今年も残すところあとわずかとなり、ニセコも本格的な冬シーズンを迎えようとしています。これからさらに寒さが厳しくなりますが、町民のみなさんもお体にお気をつけてお過ごしください。

今後とも、私たちニセコ高校生の活動への温かい応援をよろしくお願いします。



ニセコ高校・ニセコ国際高校のインスタグラムはこちら▶

子育て講座「編み物教室」

子どもたちに暖かい毛糸の手袋などを編んでみませんか。

◆日時／11月10日（火）、17日（火）、24日（火）
　午前9時半～午前11時半
◆場所／町民センター
◆持ち物／毛糸（自分で編むものに使う毛糸）、棒針
◆託児／子育て支援センター「おひさま」
◆申込期限／11月4日（水）

おひさまにこにこ相談

おひさまにこにこ相談（保健師・栄養士相談）を下記の日程で行います。子どもの発達や予防接種、離乳食のことなど、子育てに関する悩みや疑問を相談してみませんか。身長や体重の測定も行います。

◆日時／11月12日（木）　午前10時～午前11時半
◆場所／子育て支援センター「おひさま」

リサイクルバザーのお知らせ

家庭で使わなくなった子ども服や子ども用品を持ちより、リサイクルしませんか。

◆日時／11月16日（月）午前8時半～11月20日（金）
　※受付時間は、午前8時半～午後5時です
◆場所／子育て支援センター「おひさま」
◆リサイクルバザーに出品するみなさんへ
・受付時間は午前8時半～午後5時です。出品用紙をお渡ししますので、職員に声をかけてください。
・大型品物（例：ベビーカー、ベビーベット、大型おもちゃなど）は、写真での展示になります。
・洗濯していない物や汚れの目立つ衣服は、ご遠慮ください。
・期間中、引き取りがなかった品物は、最終日の午後4時半までに、各自で回収をお願いします。
※不明な点がありましたら、お問い合わせください

子育て講座「しめ飾りリース作り」

◆日時／12月9日（水）　午前10時～
◆場所／町民センター
◆材料費／2,500円
◆託児／支援センター「おひさま」
◆申込期限／12月2日（水）

■ニセコ町幼児センター「きらっと」
TEL（代表）0136-44-2700　FAX.0136-44-2725

INFORMATION



近藤小 ブックフェス

近藤小でブックフェスを開催しました。体育館に並ぶたくさんの本を子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでくれました



パッチワーク講座

10月18日に、パッチワーク講座がありました。素敵なウォールポケットができあがりました

No.285

あそぶっくだより

■学習交流センター　あそぶっく
開館時間／午前10時～午後6時
休館日／月曜日・最終金曜日・祝日・年末年始
TEL 0136-43-2155　FAX 0136-43-2156
https://asobook-lib.com/

本の展示　**10/31～11/26「レシピ本大賞2026」**
大賞『リュウジ式生きるための弁当』のほか、2026年までの入賞作やスタッフおすすめ本など、多数展示します。

趣味の展示　**11/1～11/15　ヒンメリ**
11/17～11/29　植物画／吉永キマさん

お知らせ

あべ弘士パネル展示

9月末に行われたファミサポ5周年特別企画「あべ弘士さんと描く ぼくらのニセコの森」で作った巨大壁画をあそぶっくで展示しています。あべ弘士さんとニセコの子どもたちとのコラボ作品は、パネル3枚分の大作です。11月26日までの展示になりますので、まだご覧になってない人は、どうぞご来館ください。



あそぶっく趣味の講座

今回の趣味の講座は、去年に引き続きクリスマス&正月飾り作りです。ボランティアのいっぷくどうさんがサポートします。



◆日時／11月29日(日)
午前10時～午後2時
◆場所／あそぶっくコミュニティルーム
◆定員／15名(大人限定、要予約)
◆参加費／無料

新着本紹介　このほかにもたくさんあります。

一般書	世界一カラダにいいランニング	ランニング整体師ゆう先生
	お悩み相談そんなこともアラーナ	ヨシタケシンスケ
	絵本のように暮らす、ふたりのパリ	アン・グットマン
読み物	たすけ鍼　深川かたぎ	山本一力
	ギャルにひかれて寺マルシェ	宮島未奈
	しろとくろの偏愛	千早茜
児童書・絵本	わんぱくだんのカレーおうこく	末崎茂樹
	キューのふるさとはボルネオの森	横塚眞己人
	みんなのちきゅうカタログ	福岡梓

司書のおすすめ本

「エベレストは居酒屋です」

渡邊直子 著　講談社



著者は、ヒマラヤの8000m峰全14座に登頂した初の日本人女性。彼女はその記録のために山に登ってきたわけではなく、ただそこにいるのが楽しいから、ヒマラヤでシェルパたちと過ごしていると本当の自分でいられるから、そんな理由で遠征を続けてきたのだといいます。そう、まるで会社帰りに居酒屋に寄って一息つくような感覚で。この本はそんな異色の登山家の半生記です。(司書　浜部陽子)

こんにちは
有島記念館です

vol. 51



アリシマエナガ館長

■有島記念館
TEL 0136-44-3245

静かな展示室で耳を澄ましてみる

9月28日まで開催していた「藤倉英幸展　風が吹く、耳を澄ます」に、たくさんのご来場ありがとうございました。テーマが「音」ということで、藤倉英幸がはり絵で描いた風景作品のほかに、「作品からどのような音が聞こえるか」を書き込める場所を展示室内に設けました。会期終了時にはおおよそ100個の来館者が感じた、さまざまな音が書き込まれていました。

例えば、空がオレンジ色に染まり海辺に船が止まっている作品には「17時の時報の夕やけこやけのメロディーと小さな波の音」とありました。時報が聞こえそうな音響機械は作品の中に描かれていません。それでも時報が聞こえたのは、17時の時報が聞こえる町に住んでいたからなのか、想像の海辺の町のイメージだったのか…。

書き込みを見ていると作品の中には描かれていない部分まで見てくださる人がとても多い展示となりました。

臨時休館のお知らせ

11月～12月は館内整理のため下記日程にて臨時休館日を設けさせていただきます。ご来館予定のみなさんにはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

■日時／
11月9日(月)～12月8日(火)

年間パスポートについて

有効期限が**2026年11月～2027年3月のものは2か月、2027年4月～2027年10月の間のものは1か月期限が延長**されます。

電話対応について

11月9日からの休館中は、平日10時～16時まで(不在の場合もあります)。

カルスポ通信
Culture & Sports News

ニセコ短歌会

朝露に花房ぬれて艶々と　初秋の影も日毎に増しゆく　佐々木禎子
赤いバラ咲きそろうていとおしい　自分で根ずけし大事に育て　林　ミヨ

ニセコ俳句会

水切の菊花一輪供えけり　越野　芳枝
あさがおやささえる棹の先に咲き　工藤有里子
両の手にあふるる梨を子より受く　重森　保子
蝦夷富士に噴煙のごと雲の峰　巾下　正子

じゅうごばあ

私がじゅうごばあに入ったのは、15年以上も前。当時は15人はいたであろうばあたち。そんな中に30代は2人だけでした。その頃は、ホテルのイベントなどにじゅうごばあの料理を提供、お手伝いをしたことを覚えてます。今では当時のばあも3人しかいませんが、時々参加してくださり、楽しく話しながら料理を作ることもあります。

料理が苦手だった私は、この会で楽しく作り、おいしく食べる喜びを学びました。今後もおいしい料理を作り続けていきます。



国際交流通信 vol.44

International Corner



9月25日（旧暦8月15日）は、中国の「中秋節」です。中国人は満月を眺めながら月餅を食べる習慣があります。そこで、ペイペイが「月餅料理教室」を開催しました!

参加者がもちもち食感の月餅、黒ごまナッツの月餅、蓮の実あんと塩漬け卵の月餅といった3種類にチャレンジして、「月餅」という中国のお菓子を幅広く味わいました。専用の型を使って花の形にしたり、漢字の模様を付けたりすることも楽しみました!

参加者のみなさんはできたての月餅と中国のお茶を楽しみつつ、ペイペイから中秋節の起源となる『嫦娥奔月（じょうがほんげつ）』という物語を聞きました。月に昇って行った妻に憧れる英雄が、毎年月が最も明るい夜に月餅を供え、月に向かって祈るようになったという伝説です。中国では、この伝統を大切にしています。物語の詳細は、次回ペイペイに会ったときに聞いてくださいね!

25 September (15 August in the Lunar Calendar) marks the Mid-Autumn Festival in China. One traditional custom involves eating mooncakes while gazing at the full moon. Accordingly, Peipei organised a Mooncake Cooking Class!

Participants made three different mooncakes: one chewy, one filled with black sesame and nuts, and one with salty egg yolks and lotus seed paste. The batter for each variety differed, meaning people could try the full range of China's traditional sweets. They also had fun forming the cakes into flowers and adding Chinese characters to them using a special mould!

While people enjoyed their freshly baked mooncakes and Chinese tea, Peipei told the story of Chang'e and Houyi — the foundational legend of the Mid-Autumn Festival. It's a story in which a great hero starts eating mooncakes every year on the night when the moon shines brightest, out of reverence for his beloved wife who ascended to the heavens. Chinese people honour that tradition to this day. If you want to hear the full story, make sure to ask Peipei next time you see her!

イベント情報

★冬季日本語教室
Winter Season Japanese Classes

毎月第1・第3木曜日　午後4時～午後5時半
1st and 3rd Thursday 4-5:30 PM
ニセコ町民センター　Niseko Chomin Centre
申し込み制　Applications Required

ほかのイベントは右記二次元コードからニセコフレンズのノーションページをご覧ください。
Scan the code for more event information.

国際交流新聞

新人の自己紹介

Kia ora!

ニュージーランドの最大都市オークランドから来ました、レラです!

自然と動物が大好きな私は、豊かな自然に囲まれたニセコでのこれからの生活がとても楽しみです! おすすめのハイキングコースや、野生動物を見つけられる場所があれば、ぜひ教えてください!

My name is Lela, and I'm from Auckland, the largest city in New Zealand!

As someone who loves animals and the outdoors, I'm really excited to live in Niseko and be surrounded by beautiful nature!

If you know any good hiking trails or places where I might spot wildlife, please let me know!

こんにちは! カナダのバンクーバーから来た、クリシンです。

ニセコ町は、私が住み慣れた世界と全然違いますが、北海道の素晴らしい食べ物を堪能すること、玄関でクワガタムシに出会うこと、綺羅乃湯サウナでリラックスすることなどが、毎日の楽しい体験の一つになっています!

Hello! My name is Crecien, and I am from Vancouver, Canada.

Niseko is very different from the world I am used to, but I am confident that each new experience — be it savouring Hokkaido's delicious food, encountering stag beetles on my doorstep, or relaxing in the sauna at Kiranoyu Onsen — will be something I cherish!

詳しくは右記二次元コードからホームページをご覧ください。
Want to know more? Scan the code or take a look at our website.

ニセコFRIENDS

■Niseko Friends Office
ニセコ町役場企画環境課経営企画係
CIR : Peiru Lai / Anna Bare
TEL 0136-56-8837
Email : kokusai@town.niseko.lg.jp
SNS : @nisekofriends

追跡！

まちづくり会社の活動！ vol.70 ニセコミライのEVシェアカー

ニセコミライでは環境配慮の取り組みとして、最初の住人が暮らし始めた頃からシェアカーを導入しています。EV（電気自動車）のため、燃料の大半は自前の太陽光発電を利用しています。また、冬季には水力発電の電力を購入し、利用することで脱炭素の取り組みにつながっています。

シェアカーは、主に週末や夜間に近隣住民のみなさんにセカンドカーとして利用していただき、プライベート利用だと空きが多くなる平日の日中は、ニセコまちの社用車として利用。つまり1台の車を複数の世帯と会社で共同利用しています。

昨年度のEVシェアカーの稼働率（1年間で何時間使われたか）は、約10%と一般的なマイカーの3倍ありました。あまり使わないセカンドカーをお持ちのニセコミライ近隣のみなさんは、EVシェアカーへ乗り換えを検討してはいかがでしょうか？詳しい情報は二次元コードからご覧いただけます。



■株式会社ニセコまち
TEL 0136-55-6087　Email：info@nisekomachi.co.jp

ラジオニセコ通信 vol.31 オープンスタジオ新番組

毎週金曜日と土曜日に、ニセコなパーソナリティーのみなさんがお送りしている番組です。フライデーオープンスタジオは2012年10月からスタート、その後サタデーオープンスタジオが2013年4月からスタートし、オープンスタジオは放送開始から14年が経過しました。年3回の特別番組も放送しており、長年放送を続けていただいている町民パーソナリティーをはじめ、新たな町民パーソナリティーも加わり、これまで放送を続けてきました。ここまで続けてこれたのも、パーソナリティーのみなさんのご協力と、リスナーのみなさんのご愛顧のおかげです。

14年が経過した今も個性的な番組ばかりです。とにかく音楽をお届けする番組もあれば、ほとんど音楽は流さずに喋りまくる番組もあります。地域の話題を紹介する番組もあれば、とことん趣味の話をする番組もあります。ぜひ週末のひと時、オープンスタジオでお楽しみください！

●新番組

・「GC Listening」　グレン・クレイドンさん
　11月14日（土）、15日（日）　午後4時～午後5時
・「途中下車のおしながき ～方向幕は気まぐれに～」
　林 正大さん
　11月21日（土）、22日（日）　午後4時～午後5時

※日曜日は再放送です

■ラジオニセコ
TEL 0136-55-5762　Email：niseko762@radioniseko.jp

ニセコ雪森考舎 vol.04 森とともに、価値をつくる

この秋、雪森考舎では、ニセコウッドパーク2026やモリビト講座、迷木市など、森や木に関わるさまざまな場をひらきました。森で遊ぶ、学ぶ、木に触れ、使う。入り口はそれぞれでも、そこから森との新しい関係が始まります。森を育てるのは、森で働く人だけではありません。森に関わる人が少しずつ増えていくことも、これからの森を育てる力になる。そんな場を、これからも作っていきます。





《森から》
今年は一際鮮やかに色づいた紅葉。多くの種子を実らせた木々。黄金色のカラマツと深緑のトドマツが彩る11月の森の足元で、動物たちはどんな冬を迎えるでしょうか。

《現場から》
今年度の製材事業もあと少しとなりました。雪が降ってからの木材事業に生かすことができるように工夫して製材しています。木製品に関するご相談もお待ちしています。



■ニセコ雪森考舎
TEL 050-5527-3109
ホームページ▶
森林の申請 届け出・相談▶

隊員から、日々の活動を報告！

となりの協力隊

vol.62

私たち協力隊員の活動や人となりを
町民のみなさんに知っていただくために
毎月情報を発信していきます！

編集担当　〈1年目〉五味 康成

協力隊の活動内容を紹介しています

ラジオニセコ出演中

［Kira 綺羅 Niseko］内
「協力隊の、ニセコが好きだから～」
（毎週月曜午後3時20分～50分）

11月の出演予定者
11／2　野村・木田
9　野村・伊藤
16　野村・高木
23　野村・池田
30　野村・小林

SNS でも情報発信中！

Webサイト　フェイスブック　インスタグラム

9月実施 全体活動レポート

イベント支援

大収穫祭、今年も朝から大盛況！

9月6日に、「ニセコビュープラザ大収穫祭」が開催されました。協力隊は、テント設営や販売、抽選会などを担当し、訪れたたくさんのお客さんとの接客を楽しみました。収穫祭の目玉の一つ「野菜詰め放題～軽トラ市」には、始まる前から大行列！あまりの人気に30分で完売してしまいました。もう一つのお楽しみ「大抽選会」もオープンと同時に行列ができ、終了時まで列が絶えない人気ぶりでした。1等のメロン箱詰めを当てて驚かれるお客さんから、6等でもバラエティに富んだ野菜やトマトすくいを選べるとあって、みなさん笑顔で帰られていくのが印象的でした。



参加させていただき、改めて町の農家さんに感謝の気持ちいっぱいの1日となりました。（五味康成）

伝統をつなぐ、狩太神社祭の踊り山

9月10日にニセコ狩太神社例大祭が行われ、恒例の「踊り山」が町内を練り歩きました。天気にも恵まれたこの日は、浴衣姿の踊り手たちが列をつくり、太鼓や音楽に合わせて「しなやか」に「笑顔」で踊りを披露し、町内各所を巡りながら元気を届けました。



踊り山には、商工会女性部を中心に、地元高校生や事業者、国際交流員など多くの町民が参加しており、沿道からは温かな声援が送られ、町全体が祭りのにぎわいに包まれていました。

私が子どものころに見て聞いていた太鼓や音楽、なぜか自然に踊れるようになっていた踊りは今でも覚えており、懐かしさとうれしさが込み上げてきました。ニセコ町の伝統がずっと受け継がれていってほしいです。（久々江拓人）

イベント支援

世代を越えて駆け抜ける秋のニセコ

9月20日、第44回ニセコマラソンフェスティバルが開催されました。朝は雨でしたが、競技が始まる頃には日が差し、青空の下でランナーたちが秋のニセコを駆け抜けました。

ハーフ、10㎞、3㎞、ファンランには、子どもから大人まで幅広い世代が参加。ファンランや3㎞だけでなく、10㎞に挑戦する子どもの姿もあり、世代を越えて同じ大会を楽しめることに魅力を感じました。

私は地域おこし協力隊として、駐車場での車両誘導や交通整理、終了後の会場片付けを担当しました。スタッフと声を掛け合い、安全で円滑な運営を心掛けました。雨上がりの会場に笑顔と活気が広がる中、地域のみなさんと大会を支えられたことに、やりがいを感じました。（荘司祐紀）



ハロウィンまっしぐら

9月14日と16日の2日間、岩崎農園さんと小田切農園さんにご協力いただき、ニセコのハロウィンを彩るカボチャを収穫しました。小田切農園さんでの収穫には、ニセコ高校の生徒のみなさんにもご参加いただきました。

収穫したカボチャを駅前や中央倉庫群前などさまざまな場所に設置すると、ニセコのまちが一気にハロウィンムードに変わり、10月のハロウィンイベントに向け、期待が高まるサポートとなりました。（岡田祐佳里）



走って、迎えて、魅力を再発見！「ニセコグラベル」

9月26日と27日、秋のニセコを舞台に「パナレーサーニセコグラベル」が開催されました。26日はライドに参加して爽快な走りを体験後、前夜祭「Welcome Night」へ。プラティーヴォさんでおいしい料理を味わいながら、全国のサイクリストのみなさんと温かく交流しました。27日の本大会では受付を担当。高揚感いっぱいに羊蹄山麓の大自然へと颯爽と走り出していく参加者のみなさんを笑顔で見送り、精一杯の応援をしました。会場には魅力的なキッチンカーや出展ブースが立ち並び、見ている側も胸が躍るほどの熱気に包まれていました。

走る楽しさと支える喜びの双方から、地域の魅力を再発見できた充実の2日間となりました。（伊藤理恵）



Living Information

くらしの情報

お知らせ 「二十歳のつどい」の開催

このたび20歳となるみなさんの前途を祝し、ニセコ町「二十歳のつどい」を開催します。対象となるニセコ町に住民登録をしている人には、11月上旬ごろに案内を郵送します。なお、現在ニセコ町に住民登録がない人でも、居住歴がある場合は参加することができますので、担当までお問い合わせください。

日令和9(2027)年1月10日(日)　午後1時～

場町民センター　大ホール

●**対象者**／平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの人

申令和8年12月9日(水)

問生涯学習課社会教育係　TEL 0136-44-2034

お知らせ 今冬も「ニセコ周遊バス」を運行します

令和元年より運行しているニセコ周遊バスが、今冬も運行します。ニセコ町民は、フリーパスの発行を受けることで無料で乗車ができます。フリーパスの申請場所は、役場商工観光課と総合体育館、ニセコ駅(観光案内所)です。申請については、令和8年11月16日(月)から運行終了日までです。運行期間は、令和8年11月28日(土)～令和9年3月22日(月・祝)を予定しています。

スキー場や温泉施設、飲食店などへ行く際に、ぜひご利用ください。

問商工観光課商工観光係　TEL 0136-56-8843

広告を掲載しませんか?

広報ニセコに掲載する広告を募集しています。事業や活動のPRにぜひご活用ください。広告事業によって得られた収入は、広報活動に充てることで、広報機能の充実を図ります。

広告掲載の基準がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。

詳しくはこちらから▶

お知らせ 防災ラジオの自動起動訓練について

全国瞬時警報システム(J-ALERT)の全国一斉情報伝達試験と緊急地震速報訓練にあわせて、防災ラジオの自動起動訓練を行います。国から発表される緊急情報を町民のみなさんにいち早くお知らせするため、J-ALERTと連動して防災ラジオを自動的に起動させます。

訓練時刻になると、防災ラジオから大きな音声が流れます。訓練ですので、お間違えのないようご注意ください。

日緊急地震速報訓練：11月5日(木)　午前10時頃～

全国一斉情報伝達試験：11月11日(水)　午前11時頃～

問総務課防災係　TEL 0136-56-8835

お知らせ 今年の原子力防災訓練について

先月号の広報誌でもお知らせしたとおり、今年も原子力防災訓練を実施します。原子力防災訓練は、北海道および13町村の主催で行うもので、万一の場合に防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携や防災技術向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図るための訓練です。

日11月6日(金)～8日(日)

●**内容**／

6日(金)：外国人観光客等避難誘導訓練

7日(土)：広報訓練、緊急時環境放射線モニタリング訓練など

8日(日)：住民避難等訓練(倶知安町での避難退域時検査)など

※状況により、訓練は中止となる場合があります

問総務課防災係　TEL 0136-56-8835



日日時 場場所 応応募方法 締締切 定定員 料料金 期期間 申申し込み 問問合せ

お知らせ 美しい景観をみなさんで守りましょう

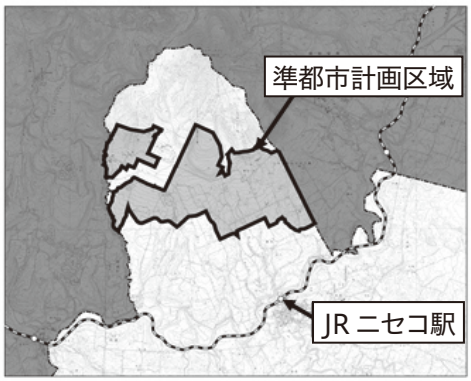
ニセコアンヌプリとモイワ山山麓地域（字ニセコ、曽我、東山の一部）において、平成21年3月6日から準都市計画区域が指定されています。また、同年7月1日からは準都市計画区域のルール（容積率や接道義務などの制限）に加え、同地域において「特定用途制限地域（遊技場や工場など、建物の用途制限の概要）」および「景観地区（建築物の高さや色、壁面の後退などの制限）」の条例などが施行されています。

これらのルールにより、それまで必要のなかった確認申請や認定申請が必要になったり、自分の土地でも自由に建物を建てられなくなったりすることは、みなさんにとって不便なことかもしれません。しかし、無秩序な開発によってニセコ町らしい景観が壊されないように、事業者も住民も景観に関わる全ての人が、自ら景観を守る努力をし、地域の財産である景観を未来に向け守り続けていく必要があります。

今後ともニセコ町の景観を守っていくため、みなさんと共に策定したルールについてご理解とご協力をお願いします。

都市計画区域のルールなどの詳しい内容は、町ホームページをご覧になるか、お問い合わせください。

また、準都市計画区域とは別に、町内の一部地域は自然公園に指定されています。自然公園内では、建築物の新築や増改築、広告物の設置、建物の色彩変更、土地の形状変更、木竹の伐採などについてさまざまな規制があります。詳しくはお問い合わせください。



●町ホームページ（準都市計画）／

問（準都市計画）都市建設課都市計画係
TEL 0136- 56-8846
（自然公園）後志総合振興局環境生活課自然環境係
TEL 0136-23-1354

お知らせ ニセコ小学校地域参観日

ニセコ小学校の学校生活を保護者のみなさんだけではなく、地域のみなさんにも見ていただく地域参観日を行います。

1、2年生は、来校者を楽しませるフェスティバルを、3年生から6年生は、各教科の授業公開などを行います。ぜひ、子どもたちの生き生きとした学習活動を見に、ニセコ小学校へお越しください。

日11月17日（火）
- 1、2年生
  フェスティバル　午前9時15分～午前11時5分
- 3～6年生
  授業公開　午前10時20分～午前11時55分
- 携帯・インターネット安全教室（5、6年生）
  午前11時10分～午前11時55分

場ニセコ小学校

●そのほか／
- 履き物（スリッパ、上靴など）をご持参ください。
- 児童玄関よりお入りください。
- 携帯電話の取り扱いには十分ご配慮ください。
- 写真撮影はご遠慮ください。

問ニセコ小学校　TEL 0136-44-2252

お知らせ 中小企業退職金共済（中退共）制度のご案内

中小企業退職金共済（中退共）制度は、中小企業の事業主が、従業員の退職金を計画的に準備できる国の退職金制度です。国からの有利な掛金助成や税法上の優遇も受けられ、手数料もかかりません。家族従業員やパートタイマーも加入できます。

※一部対象外あり。詳しくは、中退共のホームページをご覧ください

問中退共本部　TEL 03-6907-1234

お知らせ 生涯現役支援窓口が開設されています

再就職などを目指すおおむね60歳以上の人を対象としたサービスを行う「生涯現役支援窓口」が、道内12か所のハローワークに開設されています。詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

●厚生労働省ホームページ／

お知らせ

町の高齢者除雪支援事業

町の除雪支援事業を下記の通りお知らせします。
詳しくは、各事業の申し込み先までお問い合わせください。

	高齢者私道除雪サービス事業	介護予防および生活支援事業（除雪サービス事業）	高齢者住宅前通路除雪費扶助事業
内容	・公道から住宅までの私道の除雪	・住宅まわりの除雪	・個人が業者などへ住宅前通路の除雪を委託
対象者	・65歳以上の世帯員のみで構成 ・65歳以上の世帯員と除雪が困難な障害がある世帯員のみで構成された世帯	・65歳以上の身体・精神に障害がある世帯員のみで構成された世帯 ・65歳以上で世帯の収入額が200万円以下の世帯	・世帯員全員が70歳以上の世帯
条件など	・上記の対象者要件 ・公道から住宅までの私道が30m以上 ・大型除雪機による除雪が可能 ・そのほか**年齢・収入・介護度・障害の状況などによる審査があります**	・上記の対象者要件 ・積雪状況に応じ、社会福祉協議会から除雪業者を派遣します	・上記の対象者要件 ・住民税非課税（均等割課税を除く） ・事業者へ支払ったものの一部を扶助します
個人負担金額	・除雪費用の3割が個人負担（5万円を上限とする）	・障害者世帯：1時間500円 ・高齢者世帯：1時間900円	**・5万円＋5万円を超えた1/3の額** 【除雪費用75,000円の場合】 （75,000－50,000）×2/3≒16,666 助成額：16,000円 （千円未満切り捨て）
申込期限・申込先	**申込期限**／ 令和8年11月4日（水）～ 令和8年11月27日（金） **申込先**／保健福祉課福祉係 TEL 0136-56-8840	**申込期限**／ 令和8年12月1日（火）～ 令和8年12月24日（木） **申込先**／社会福祉協議会 TEL 0136-44-2234	**申込期限**／ 令和8年11月4日（水）～ 令和9年3月19日（金） **申込先**／保健福祉課福祉係 TEL0136-56-8840

土屋弁護士の
くらしのお悩み解決します！



●今月のテーマ

改正食糧法～お米を安定して届けるための制度

■パークフロント法律事務所
ニセコ事務所
ニセコ町字本通141番地
TEL 0136-44-3800
FAX 0136-44-3801

新米が店頭に並ぶ季節となりました。昨年は、全国的にお米が品薄になり、価格も大きく上がるなど、社会的な問題となりました。こうした状況を受け、今年7月、改正食糧法が成立しました。今回の法改正では、お米の生産や流通、備蓄に関する仕組みが見直されました。具体的には、一定規模以上のお米の出荷・販売事業者だけでなく、お米を原料とする食品を加工・製造する事業者などにも、保有しているお米の量などを定期的に報告することが義務化されました。また、お米の備蓄制度も見直されます。これまでも政府は、凶作や災害などに備えてお米を保管してきました。今回の改正では、政府による備蓄に加え、一定規模以上のお米の出荷・販売事業者などにも、決められた量以上のお米を保有することが求められるようになります。さらに、生産者には、消費者が必要とする量や種類を意識してお米を生産するよう努めること、政府もそのような生産を後押しすることを法律上明確にしました。

これらの制度は、遅くとも2028年までに始まる予定です。私たちの主食であるお米を将来にわたって安定して確保するため、今回の法改正では、お米の生産や流通、備蓄に関する仕組みが見直されました。今後、これらの制度がお米の安定供給につながることが期待されます。

日日時 場場所 応応募方法 締締切 定定員 料料金 期期間 申申し込み 問問合せ

Community School チャンネル vol.47

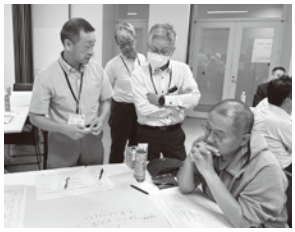
地域とともにある学校づくり
ニセコスタイルの
コミュニティ・スクール

「話し合う」から「一緒に作る」へ

9月28日に、第2回ニセコ町コミュニティ・スクール全体会を開催しました。旭川市立大学の出口寿久先生を講師に迎え、「学びを作るコミュニティへの転換」をテーマにご講演いただきました。

講演の冒頭で共有されたのは、「社会に開かれた教育課程」の重要性です。学校の専門性と、地域が持つ知識・経験・人・場所・文化といった強みを重ね合わせ、子どもたちの豊かな学びを共に創る姿勢が示されました。特に印象的だったことは、「話し合いだけで満足せず実践へ進むこと」という問いかけです。熟議はあくまで行動のための手段であり、実践に移してこそ意味があります。また、学びづくりでは「どんな学びをさせたいか」を先に考え、その上で地域資源を探す順番が大切であり、地域で暮らし働く人々の姿そのものが教材になると語られました。

今後は「やってみて、振り返り、改善する」実践サイクルを大切にし、学校と地域全体で子どもたちの学びを共に育んでいきます。



問コミュニティ・スクール委員会事務局
TEL 0136-44-2101

注 意

竜巻などの激しい突風に注意しましょう

大気の状態が不安定になると、積乱雲が発生・発達し、その下では竜巻などの激しい突風が発生しやすくなります。家屋の損壊や飛来物などにより短時間で大きな被害をもたらすほか、人的被害が伴うこともあります。平成18年11月には佐呂間町で竜巻が発生し、9人が亡くなりました。

竜巻などの突風災害から身を守るためには、段階的に発表される気象情報を有効的に利用することが効果的です。気象庁では「気象解説情報(落雷・突風)」や「雷注意報」で早めの注意を呼びかけるほか、竜巻などの激しい突風が発生しやすい状況となった場合には、「気象防災速報(竜巻注意/竜巻目撃)」を発表します。

空が急に暗くなる、雷鳴が聞こえるなど積乱雲接近の兆しが見られた場合は、頑丈な建物へ避難するなど身の安全を図ってください。

●気象防災速報(竜巻注意／竜巻目撃)／

●竜巻・突風に関する詳しい情報／

問札幌管区気象台天気相談所 TEL 011-676-5025

町営住宅

空き室情報

10月公募で入居が決まらず繰り越しとなった部屋や、空き部屋で修繕などが完了した部屋を追加し、公募する予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

期11月2日(月) ～ 11月16日(月)
応詳しくはお問い合わせください
問都市建設課住宅管理係
TEL 0136-56-8846

年金だより

納めた国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です!

控除の対象となるのは、令和8年1月から令和8年12月までに納められた保険料の全額です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。また、ご自身の保険料だけではなく、配偶者やご家族(お子様など)の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

令和8年1月1日から令和8年9月30日までの間に国民年金保険料を納付された人には、11月上旬に日本年金機構から「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が送られますので、年末調整や確定申告を行う際には必ずこの証明書または領収書を添付してください。

問ねんきんダイヤル TEL 0570-05-1165
町民生活課住民係 TEL 0136-56-8839

募集　自衛官採用について

任期制自衛官（第5回）

●**受験資格**／採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の人

●**受付期間**／11月9日（月）～12月2日（水）

●**試験日**／12月11日（金）または12日（土）

任期制自衛官（第6回）

●**受験資格**／採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の人

●**受付期間**／11月9日（月）～令和9年1月12日（火）

●**試験日**／令和9年1月16日（土）または17日（日）

高等工科学校生徒（一般）

●**受験資格**／令和9年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子

●**受付期間**／～令和9年1月14日（木）

●**一次試験日**／令和9年1月23日（土）

試験日は変更の可能性がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問自衛隊札幌地方協力本部倶知安地域事務所
TEL 0136-23-3540
または自衛官募集相談員　TEL 0136-44-2177

募集　JR倶知安駅より冬期除雪パートスタッフ募集

JR倶知安駅では、ニセコ駅・蘭越駅での除雪作業員を募集しています。ご応募お待ちしています。

●雇用期間／令和8年12月1日（火）～令和9年3月15日（月）

●**勤務場所**／ニセコ駅（昆布駅含む）または蘭越駅（目名駅含む）

●**勤務時間と賃金**／

・泊まり勤務：午前9時10分～翌9時10分まで
（実働16時間）　21,000円

・日勤勤務：午前9時10分～午後6時10分まで
（実働8時間）　10,500円

※最低賃金額変更に伴い変更する場合があります

●**業務内容**／駅ホームや構内（線路内・踏切・ポイント）でのスコップやスノーダンプを使用しての除雪作業

問JR倶知安駅　TEL 080-2187-5501



注意　11月9日は「119番の日」

羊蹄山ろく消防組合消防本部指令センターでは、管内7か町村（倶知安町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町）からの119番通報を一括受理しています。

令和7年中は4,252件の119番通報を受理しました。年々、通報件数は増加しており、同様に救急出動も2,511件（前年比57件増）で、過去最多となっています。

●**119番のかけ方**

電話がつながると、指令センターから順番に質問されますので、落ち着いて答えてください。

【出動先】

町村名から正しい場所を伝えてください。町内会や駐在区の名称をお答えする人がおり、正確な出動場所の聴取に時間を要する場合があります。

【火災の場合】

何が燃えているか、逃げ遅れはないか

【救急の場合】

誰がどうしたか、どういう症状なのか

●**救急車の適正利用**

「病院に行きたいけれどタクシーがない」「熱が出てだるい」「手の擦り傷」「入院予定日なので病院に行きたい」「救急車で行けば早く診てもらえると思った」など、自力歩行できる軽症の救急出動件数が増加しています。救急車の本来の目的は重症患者を病院へ搬送することです。救急車の適正利用をお願いします。ただし、「胸痛」「手足のまひ・しびれ」「ろれつが回らない」「突然の激しい頭痛」などの症状は、重症が疑われますので、迷わず119番通報してください。

●**音声以外の119番通報**

耳が聞こえない、言葉が話せないなどの事情で音声による119番通報が困難な人に対して、FAXとインターネット（NET119）を利用した通報も指令センターで受け付けています。FAX119およびNET119のご利用は、登録が必要となりますので、最寄りの消防署・支署へ問い合わせてください。

「119番のかけ方」に関する詳細は、ホームページでご覧いただけます。

●**羊蹄山ろく消防組合ホームページ**／

問羊蹄山ろく消防組合消防署ニセコ支署
TEL 0136-44-2354

日日時 場場所 応応募方法 締締切 定定員 料料金 期期間 申申し込み 問問合せ



▲インスタグラムはこちらから

文化 第38回 有島武郎青少年公募絵画展

有島武郎の芸術振興精神を継承して今年で38回目を迎える公募絵画展。入賞・入選作品を展示します。生徒たちの力作にご期待ください。

日～11月8日(日) 場有島記念館

料特別展示室観覧料(大人600円、高校生以下と65歳以上の町民無料)

問有島記念館 TEL 0136-44-3245

文化 有島武郎青少年公募絵画展表彰式・講評会

受賞者への表彰のほか、出品作品の講評を審査員よりいただきます。みなさんのご参加をお待ちしています。

日11月3日(火・祝) 午後1時～ 場有島記念館

料無料 申事前申し込み不要

問有島記念館 TEL 0136-44-3245

町職員の人事

◎町長部局

●10月15日付

【保健福祉課】

▽福祉係 小川峻斗(都市建設課管理係)

【都市建設課】

▽管理係主任 永澤 香(企画環境課経営企画係主任)

●11月1日付

【企画環境課】

経営企画係 大越千聖(新採用)

【都市建設課】

▽兼ねて都市建設課主幹 黒瀧敏雄(総務課消防庁舎整備室主幹)

今月のフォトアルバム

一生懸命収穫したサツマイモで
ミートローフとモンブランを作りました
撮影者:広報広聴係









おいしすぎて笑顔になった
幼児センターの焼き芋
撮影者:広報広聴係

身近な写真を紹介してみませんか!

撮影日や撮影場所などの簡単な説明とお名前(フォトネーム)とともに、お寄せください。

■広報広聴係／koho@town.niseko.lg.jp ■ニセコ町公式LINE投稿フォームはこちら▶

DATA of NISEKO TOWN

住民係窓口受付分

赤ちゃん

おくやみ

人の動き（9月末現在）

人　口 5,058人（前月比 −28）
男　2,572人（前月比 −16）
女　2,486人（前月比 −12）
世帯数 2,838戸（前月比 −25）

うち外国人　652人　うち外国人世帯　485戸

町内の放射線量の状況

測定日　10月15日までの1か月間
最高値　0.054μGy/h
最低値　0.034μGy/h
平均値　0.036μGy/h

空間放射線量率は平常レベルです

※欠測日除く

まちの事件簿

ニセコ町地域安全協会

〈事 件〉

・9月3日、ビニールハウス内からメロンが窃取される事件が発生しました。
・9月24日、無人販売所からスイカなどが窃取される事件が発生しました。

〈交通事故〉

・9月中、ニセコ町では交通事故はありませんでした。

■倶知安警察署　TEL 0136-22-0110

ニセコ町公式ホームページに契約結果を掲載しています。

広報とともに回覧している文書はホームページで確認できます。



こんにちは 町長です

ニセコ町長
田中　健人

11月から、新しい消防庁舎の運用が始まります。消防や救急は、普段の暮らしの中では意識する機会が少ないかもしれませんが、いざという時に町民の命と暮らしを守る、欠かすことのできない仕事です。新しい施設ができることだけではなく、そこを支える消防職員や消防団員、地域のみなさんの日頃の備えがあってこそ、安心は作られています。

町政には、新しいことに挑戦する仕事と同時に、道路や水道、除雪、防災など、日常の「当たり前」を守り続ける仕事があります。そうした仕事は目立ちにくくても、暮らしの土台です。新消防庁舎のスタートを機に、安全・安心を支える仕事の大切さを感じています。これからも、いざという時に頼れる町であるため、必要な備えを着実に積み重ねていきます。

編集後記

マラソン、グラベル、ハロウィン、さらには小野伸二さんがニセコ町を訪れるなどイベント盛りだくさんの1か月で、あっという間に11月になりました。最近カメラを持って歩いていると「あ、カメラマンだ」といわれることが増えてきました。広報の担当になって半年がたち、少しずつですが「イベントでいつも撮影している男の人」と覚えてもらえているのがとてもうれしいです。イベントなどで見つけたらぜひ声をかけてください。

今月号の特集では、ニセコ町で育ったスキー選手の紹介をしています。詳しくは特集を読んでいただきたいですが、今回の特集で関わった選手のみなさんが共通して大切にしていたのが「楽しむ」ことでした。ニセコ町という雪山だけではない素晴らしい自然を子どものころから楽しんで過ごしてきたことが強さの秘訣にもなっているのだと感じました。

私自身も、今年はさらにニセコの雪を堪能したいと思います。　（つ）

11 NOVEMBER まちのカレンダー

My town CALENDAR

固定資産税（第4期）・介護保険料（第5期）・国民健康保険税（第6期）の納期です ◆納期限／いずれも25日（水）
上・下水道の納期です ◆口座引落し／30日（月）
口座振替をご利用の人は、残高の確認をお願いします

問合せ
■固定資産税・国民健康保険税／税務課 TEL 0136-56-8838
■介護保険料／保健福祉課 TEL 0136-56-8840
■上・下水道／上下水道課 TEL 0136-56-8847

1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土
●ニセコ町文化まつり／町：（～11月3日）	●放課後子ども教室／ニセコ小学校体育館：13:30～ あそぶっく休館日 有島記念館休館日	文化の日 ●有島武郎青少年公募絵画展表彰式・講評会／有：13:00～ くらしの情報P24参照 あそぶっく休館日 中央倉庫群休館日	●お茶会inニセコ／町：10:00～ 有島記念館休館日	●緊急地震速報訓練／町内：10:00～ くらしの情報P19参照 ●乳幼児健康診査／町：13:00～ ●ちいさいおうち／あ：10:30～ ●あそぶっくらぶ（予約制）／あ：15:00～ ●まちづくり懇談会／ニセコ地域コミュニティセンター：19:00～20:30 あそぶっく夜間開館	●原子力防災訓練／町内：（～11月8日） くらしの情報P19参照 ●エキノコックス駆除対策／町内：9:00～ ●放課後子ども教室／町：13:30～	●近藤小学校学習発表会／近藤小学校：8:45～
8日	**9月**	**10火**	**11水**	**12木**	**13金**	**14土**
	●5歳児健診／町：9:30～ ●放課後子ども教室／町：13:30～ ●まちづくり懇談会／有：18:00～19:30 あそぶっく休館日 有島記念館休館日	●子育て講座「編み物教室」／町：9:30～11:30 子育て・教育P12参照 ●健康運動教室／町：19:00～ 中央倉庫群休館日 有島記念館休館日	●全国一斉情報伝達試験／町内：11:00～ ●水曜ほうかご探究室／町：15:30～ ●全町9人制バレーボール大会監督者会議／町：18:30～ 有島記念館休館日	●おひさまにこにこ相談／幼：10:00～11:30 子育て・教育P12参照 ●ちいさいおうち／あ：10:30～ ●あそぶっくらぶ（予約制）／あ：15:00～ あそぶっく夜間開館 有島記念館休館日	●放課後子ども教室／町：13:30～ ●まちづくり懇談会／中央連合町内会コミュニティセンター：18:00～19:30 有島記念館休館日	●英会話サークル／オ：10:00～ 有島記念館休館日
15日	**16月**	**17火**	**18水**	**19木**	**20金**	**21土**
有島記念館休館日	●リサイクルバザー／幼：8:30～（～11月20日） 子育て・教育P12参照 ●放課後子ども教室／町：13:30～ あそぶっく休館日 有島記念館休館日	●子育て講座「編み物教室」／町：9:30～11:30 子育て・教育P12参照 ●弁護士無料法律相談／町：13:00～（前日昼までに要予約） ●ニセコ小学校地域参観日／ニセコ小学校：9:15～ くらしの情報P20参照 中央倉庫群休館日 有島記念館休館日	●お茶会inニセコ／町：10:00～ ●ラジオニセコ割込放送／役：10:50～ 有島記念館休館日	●ちいさいおうち／あ：10:30～ ●あそぶっくらぶ（予約制）／あ：15:00～ ●冬季日本語教室／町：16:00～17:30 国際交流通信P15参照 あそぶっく夜間開館 有島記念館休館日	●放課後子ども教室／町：13:30～ 有島記念館休館日	有島記念館休館日
22日	**23月**	**24火**	**25水**	**26木**	**27金**	**28土**
有島記念館休館日	勤労感謝の日 あそぶっく休館日 有島記念館休館日	●子育て講座「編み物教室」／町：9:30～11:30 子育て・教育P12参照 ●健康運動教室／町：19:00～ あそぶっく休館日 中央倉庫群休館日 有島記念館休館日	●水曜ほうかご探究室／町：15:30～ 有島記念館休館日	●ちいさいおうち／あ：10:30～ ●魔法のじゅうたん／あ：15:00～ あそぶっく夜間開館 有島記念館休館日	●ママカフェ／町：10:00～ ●放課後子ども教室／町：13:30～ あそぶっく休館日 有島記念館休館日	●英会話サークル／オ：10:00～ 有島記念館休館日
29日	**30月**	**12/1火**	**2水**	**3木**	**4金**	**5土**
●全町9人制バレーボール大会／体：9:00～ 有島記念館休館日	●巡回ミニドック結果説明会／町：9:30～ ●放課後子ども教室／町：13:30～ ●まちづくり懇談会／宮田集会所：18:00～19:30 あそぶっく休館日 有島記念館休館日		●夜間・休日の救急・急病対応 倶 倶知安厚生病院 TEL 0136-22-1141 救急受付 365日 24時間対応			

カレンダーの見方

役＝役場　町＝町民センター　あ＝あそぶっく　こ＝こども館　幼＝幼児センター
運＝運動公園　体＝総合体育館　有＝有島記念館　倉＝中央倉庫群　オ＝オンライン

特集

01

ニセコ町で育った雪の上のアスリートたち

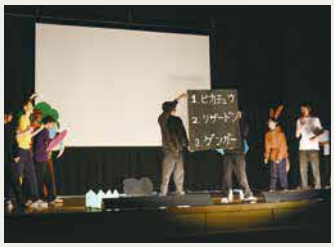
ニセコ町で育ち、世界に挑む選手がたくさんいます。そんな選手たちの素顔と、滑る・応援する楽しみを紹介します。



07 • まちの話題

9月中旬から10月上旬に行われた、ニセコマラソンやニセコ中学校文化祭などの様子をお届けします。





09 • 福祉・健康づくり
11 • 子育て・教育
13 • 文化・芸術・スポーツ
15 • 地域づくり
17 • となりの協力隊
19 • くらしの情報
26 • まちのカレンダー

ニセコ町公式ホームページ

暮らしに関する情報から観光情報まで幅広く掲載。お知らせや募集情報は、随時更新しています。

公式SNSでもニセコ町の情報を配信中！

X　Facebook　note

Instagram　LINE

広報 ニセコ ［11月号］ 令和8年（2026年）11月1日発行　第775号

編集発行／ニセコ町企画環境課　〒048-1595　北海道虻田郡ニセコ町字富士見55番地　TEL.0136-44-2121（代表）　FAX.0136-44-3500
印刷／株式会社 龍文堂